

Course number	U-LAS22 20004 SO48				
Course title (and course title in English)	フランス語II B F2152 Intermediate French B		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Part-time Lecturer, SAKAI REIMON	
Group	Languages		Field(Classification)		
Language of instruction	Japanese and French		Old group	Group C	Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters 2026・Second semester
Days and periods	Mon.3	Target year	2nd year students or above	Eligible students	For all majors

[Overview and purpose of the course]

フランス文化

この授業では、『フランス、地方を巡る旅』（2017年）を用いて、フランスの地方ごとの特色を学んでいく。以前はフランスの地方は27あったが、2015年の領土改革により、地域圏の数がフランス本土13、海外領土5になり、1年かけて授業で全てを扱うことが可能となった。パリとイル・ド・フランスについては、この教材では触れられていないため、時間があれば、パリ周辺で撮影された動画をDVDで鑑賞することにより、首都の文化も紹介したい。

より具体的に書けば、フランス各地の地理的特徴、産業、郷土料理などを取り上げていくことで、フランス国内の多様性について理解を深めていく。その際に、担当教員自身の旅先での体験談も折に触れて語ることで、単調な授業にならないように心がけたい。

また、教科書の各課の最後に付いている文法の練習問題を解くことで、文法に関する知識も増やしていく。

後期の授業では、教科書の後半を取り上げる予定である。

[Course objectives]

- ・フランス語で文章を読む力を向上させる
- ・初級の授業で学んだフランス語の文法知識を深める
- ・音声を繰り返し聞くことで、フランス語の発音を聞き取り、自分でも正しく発声できるようになる

[Course schedule and contents]

以下のように、基本的に2回の授業で、教科書の1課分を終えることを目安とするが、受講者のレベルに応じて、1回の授業で扱う分量を多くしたり、少なくしたりすることもある。

第1回 授業の趣旨と教科書の特徴を理解する

第2-3回 「第7課 プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュールおよびコルス」

第4-5回 「第8課 オキシタニー」

第6-7回 「第9課 ヌーヴェル・アキテーヌ」

第8-9回 「第10課 ペイ・ド・ラ・ロワール」

第10-11回 「第11課 サントル＝ヴァル・ド・ロワール」

Continue to フランス語II B F2152(2)

フランス語II B F2152(2)

第12-13回 「第12課 海外県」
第14回 後期の振り返り
第15回 フィードバック

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

平常点は、出席状況と授業態度に基づき、30%を目安として付ける。また、期末試験の得点を70%として計算する。その後、平常点と期末試験の得点を総合し、成績を算出する。

[Textbooks]

ファビエンヌ・ギユマン 『フランス、地方を巡る旅』（駿河台出版社）

[Study outside of class (preparation and review)]

授業の前に各課の予習をしておくこと。その際に、文中に出てくる動詞の原形と時制も確認しておく。授業中にどの箇所が当たっても答えられるように準備しておくことが望ましい。

[Other information (office hours, etc.)]

仏和辞典を購入し、毎回持参すること。

[Essential courses]